

科目名	担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
相談援助	鈴木 孝子	演習	1	後期
必修・選択	卒業要件	選択		
	資格要件	保育士資格必修		
学習目標	子どもの健やかな育ちを支えるために、子どもの親、家族、子どもと家族を取り巻く地域の人々と関わるためにソーシャルワークの方法・相談援助について豊富な事例を通して学びます。			
授 業 計 画				
回	項 目	授 業 内 容		
1	相談援助の意義、機能	生活の場で相談援助が必要な訳と利用者を支えるヒト・モノ・カネについて		
2	相談援助の理論	人権尊重の原理に基づく相談援助の原理・原則と代表的な理論とアプローチ		
3	社会福祉・保育とソーシャルワーク	ソーシャルワークの発祥と変遷、日本の社会福祉・保育とソーシャルワーク		
4	相談援助の対象と援助過程	ケースの発見から援助の終わり、アフターケアを事例を通して学ぶ		
5	よい相談のための環境と技術	相談のしやすい場所の作り方や技術の具体例と相談技術の基本の模擬練習		
6	よい相談技術の磨き方	スーパービジョン、ケース会議、電話相談など向上する機会		
7	個人に対する援助技術（1）	ケースワーク（個別援助）をすすめるための基本的態度		
8	個人に対する援助技術（2）	具体的展開過程—相談の始り・インテークから終結まで		
9	ケースワークとカウンセリング	展開過程の一部とカウンセリングとの違いと重なる部分		
10	小集団を活用した援助	グループワークの原理、活用の方、援助モデルや構成要素		
11	グループワークの進め方	展開過程と準備、子育て支援センターの母親グループ事例		
12	グループワークの諸原則	小集団活動の基本原則と個別援助原則との相違点も学ぶ		
13	記録と評価	記録の取り方、活用方法、評価のしかたと守秘義務について		
14	関係機関、他専門職との連携	地域の多様な機関と専門職、市民との協働と連携の仕方		
15	社会資源の活用・調整・開発	具体的な支援活動団体（NPO）の事例から学ぶ		
参 考 書	小林育子、小館静枝、日高洋子著、「保育者のための相談援助」、萌文書林、2011			
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	事例を授業の前によく読んでおくこと、授業ではできるだけその場で分からない事、疑問に思ったことについて質問をすること、人との関係を楽しむこと。			
評価の方法と時期	出席率、授業への参加態度、2回の小課題（記述）と期末テストの総合評価			